

家 庭



生 兵 法

生兵法は大疵のもとゝは、昔より世間にいひ傳へ
疵る謡でござりますれば、皆様はこの意味は百も
じよからぬせう。さるに、鎗や薙刀を使ひ
又は弓矢鐵砲を持ちて、戦を學ぶのではなく、愛
情熱心を以て、無垢無邪氣の子どもを教つ育つる
上にも、時にこの謡にもれぬやうの事のあるのは
誠に歎かはしい次第でござります。かく申します
るのは、學者や教育家は教育上の兵法の心得わ

れば、他に比べますれば、教育方宜しきを得て、
其子どもは十全の發達を遂ぐべき筈なるに、却て
感高いとか虛弱者とか、とかく發達圓満ならざ
るものがあるからでござります。中には勿論天性
しかあるべき子どもあり、又他にもぬけて立派な
る子どももござることは事實でござりますけ
れども、また其中には、随分劣つた子どものある
ことも事實の様に思はれます。これは、大疵を父
母が自ら受けないで、反つて子どもに負はしめた
るものと申して宜しからうと存します。そして、
この過を來すはもとゝ子どもの發達如何を熟知
せず、一圖に子供不相應の刺激を與へ、夫が爲に
甚しく子供を疲れしむるに因ること、思はれま
す全体子供の視聽うする感覺は皆一様に發達しない
といふことは、皆様も御承知の通りであつて、耳

目の發育の度に應して視聽の力が出來て來まして

其他總ての力も決して皆同様に發達致しませぬ。

高尚なる心の働きも、これと同様の譯合になつて居ます。然るに教育上に於ては實際この事柄が多く世間に見のがされて居るではありますまんか。そ

れで物事を見たり聞いたり又眞似る力はありません。まだ道理を辨别判断するなどの力のない子

どもに向つて、無闇と理窟をならべ立てゝ、教育しようとした所が、到底其効のない許りではなく時によりては却て子供に大疵を負はしむるやうのことにして立ち到るのであります。學者教育家が却て

この過を招くのは返すゝも殘念の次第にござりますれば、皆様も深く教育の方法をお調への上實察に當りてはよく御注意ありたきこと存じます。

居眠りも無理ならず

電

園

「小僧また眠つて居る」とは、店番の小僧へ番頭さんのお叱言。「お前はなぜそんなであらう、夜分ばかりでなく朝からの居眠りは何事です」とは子守女に奥さんのお小言。小僧子守の居眠りも時には無理ならざるやうに考へますれば、普通子どもの要する睡眠時間を左に掲げて、御参考に供するのは、あながち朝から晩まで立働く小僧子守の辯護ばかりでなく、お家の爲め御店の爲でございま

す。

年齢

時間數

生れてより四週間に至る	二十乃至二十二時間
一ヶ月より六ヶ月に至る	十六乃至十八時間
六ヶ月より一年に至る	十四乃至十六時間